



Moody's Japan K.K.

# NEWS

Contact:

東京  
増田 厚  
アナリスト  
ストラクチャード・ファイナンス  
ムーディーズ・ジャパン株式会社  
お問い合わせ電話番号：03-5408-4100  
報道関係者専用番号：03-5408-4110

東京  
武田 真一  
AVPアナリスト  
ストラクチャード・ファイナンス  
ムーディーズ・ジャパン株式会社  
お問い合わせ電話番号：03-5408-4100  
報道関係者専用番号：03-5408-4110

ムーディーズ、地域金融機関 CLO の 2 案件を格下げ、更に格下げ方向で見直し

## 優先受益権及びメザニン受益権を対象として

2009 年（平成 21 年）1 月 29 日、東京、ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、地域金融機関平成 18 年 9 月 CLO 及び地域金融機関平成 19 年 6 月 CLO の優先受益権及びメザニン受益権を格下げし、更に格下げ方向で見直すと発表した。

これらの証券化取引は、(a)日本政策金融公庫（旧中小企業金融公庫）が「買取型」証券化スキームの下で地域金融機関から買い取った中小企業向け貸付債権、及び(b)日本政策金融公庫自身が「自己型」証券化スキームの下で実行した中小企業向け貸付債権を裏付けとする CLO である。(a)及び(b)の貸付債権は、当初より証券化することを目的として実行されたものである。

今回の格下げは、昨今の景気低迷や中小企業の資金調達環境の悪化を背景として、裏付債権プールのパフォーマンスが悪化し、現状の信用補完比率が従来の格付けレベルにおいて相応とされる水準を下回ったことによる。一方、中小企業の資金調達環境を下支えすることを目的とした政府による緊急保証制度をはじめとする一連の支援策も実施されており、景気低迷とこれらの支援策が裏付債権プールのパフォーマンスに及ぼす当面の影響を見極めるため、更に格下げ方向での見直しを行う。

本取引の格付けに利用された主な格付け手法は、“Japan’s SME CDOs: Rating Stability and Monitoring Procedure”であり、www.moody’s.com の“Credit Policy & Methodologies”ディレクトリ、“Ratings Methodologies”サブディレクトリで閲覧することができる（当該格付け手法の日本語版「日本の中小企業 CDO の格付け安定性とモニタリング実務」（2007 年 11 月）は、www.moody’s.co.jp の「格付け手法」ディレクトリ、「ストラクチャード・ファイナンス」サブディレクトリで閲覧することができる）。また、格付けの過程で考慮された他の格付け手法及び要素も“Credit Policy & Methodologies”ディレクトリで閲覧することができる。

本日の格付け変更は以下の通り。

地域金融機関平成 18 年 9 月 CLO

優先受益権（法定最終償還日 2012 年 10 月 15 日）

現在の格付け：Aa1、格下げ方向で見直し

以前の格付け：Aaa

以前の格付けアクション実行日：2006 年 9 月 8 日、Aaa の本格付けを付与

メザニン受益権（法定最終償還日 2012 年 10 月 15 日）

現在の格付け：Baa2、格下げ方向で見直し

以前の格付け：A3

以前の格付けアクション実行日：2006 年 9 月 8 日、A3 の本格付けを付与

地域金融機関平成 19 年 6 月 CL0

優先受益権（法定最終償還日 2013 年 7 月 16 日）

現在の格付け：Aa2、格下げ方向で見直し

以前の格付け：Aaa

以前の格付けアクション実行日：2007 年 6 月 13 日、Aaa の本格付けを付与

メザニン受益権（法定最終償還日 2013 年 7 月 16 日）

現在の格付け：Baa3、格下げ方向で見直し

以前の格付け：A3

以前の格付けアクション実行日：2007 年 6 月 13 日、A3 の本格付けを付与

ムーディーズ・インベスターズ・サービスは格付けの意見およびリサーチを出版する会社である。証券の募集・販売、あるいは募集を行う会社の代理業務を行うことはない。また、このプレス・リリースは証券の購入、保有、または売却を勧誘・推奨するものではない。

以上